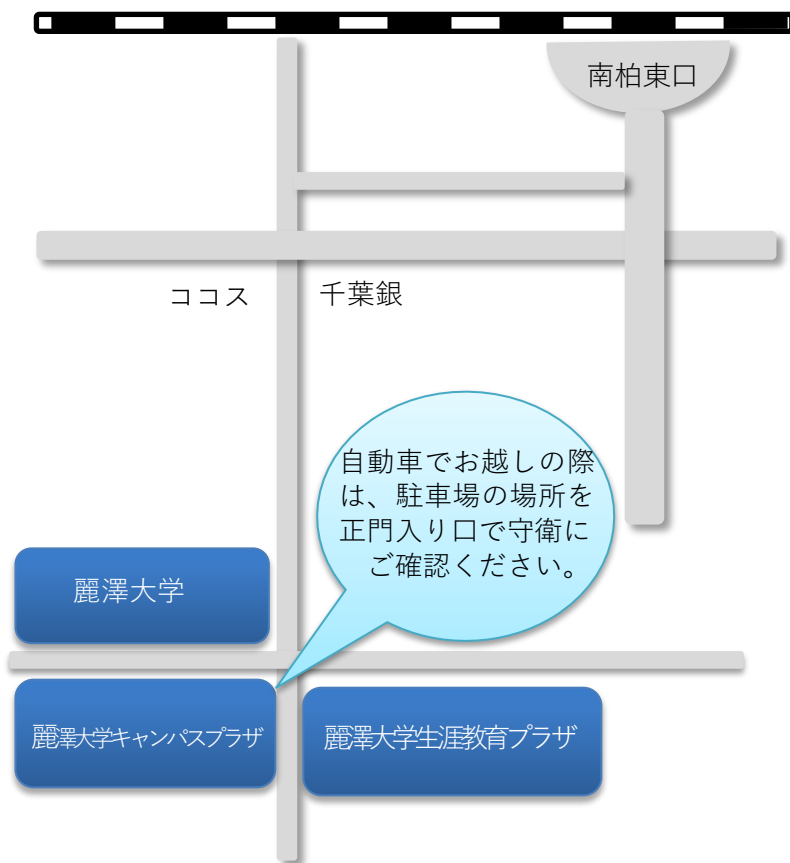


会場へのアクセス



会場：れいたくキャンパスプラザ

- JR 東京駅より山手線西日暮里（10分）経由、地下鉄千代田線南柏駅（35分）下車。
- JR 常磐線（快速電車）上野駅乗車、松戸駅にて JR 常磐線（各停）柏・我孫子・取手行き（地下鉄千代田線乗入れ）に乗りかえ南柏駅下車。
- 南柏駅東口よりタクシーまたは東武バス（1番今谷経由・酒井根行）乗車、約5分、「麗澤大学前」で下車。

バス時刻表

| 南柏駅東側発 | | 麗澤大学前発 | |
|--------|----|--------|----|
| 10: | 01 | 15: | 04 |
| | 06 | | 13 |
| | 15 | | 18 |
| | 17 | | 30 |
| | 25 | | 33 |
| | 26 | | 43 |
| | 36 | | 46 |
| | 42 | | 56 |
| | 46 | | |
| | 53 | | |
| | 58 | | |

編集後記

地球がこわれかかっているのでは？と感じるほど、今まで経験したことのない大雨、洪水、竜巻……。未来のこどもたちのためにも、平和な日本を、世界をと願わずにはいられません。津田の卒業生の皆様は、社会で、地域で、活躍をされておられますが、お忙しい中でも、あせらずゆっくりと会話を交わせるオアシスのような会が続けられるよう、敢えて‘andante(アンダンテ)’と名前をつけました。

石林昭子

(英大13回)

50 円
切手

〒270-0157

流山市平和台 5 - 6 6 - 5

松澤 妙子行

恐れ入りますが、
左の葉書を線に沿って
切り取り、切手を貼っ
てお送りください。





津田塾大学同窓会千葉支部

Andante (アンダンテ)

発行人：津田塾大学同窓会千葉支部
 発行責任者：支部長 楠山栄子
 電話：090-3530-6827
 編集部：永野悦子 松澤妙子
 石林昭子 山岸恵美子
 酒井溪子 山口明子

ご挨拶

暑い日が続きます。皆さまいかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。

これまで東葛地区のみの活動で、他の地域にお声をかける力もなく誠に申し訳なく思っておりましたが、ようやくここに、千葉県すべての同窓生の皆様（約1600名）にこの第一回会報と総会のご案内をお送りできますこと、役員一同、ほんとに安堵するとともに、大変うれしく思っております。

設立から1年。まだよちよち歩きの千葉支部です。同窓会運営という点では数多くの課題を抱えています。縦に長い地域ですので、一か所に集まるのは無理ではないか、分割したほうが集まりやすいのではないか、また、せっかくの同窓会、昔の学生時代に戻って何か啓発となるセミナー、講演会はできないものか等々・・・早急に検討しないといけない課題、将来への膨らむ期待も数多くありますが、ひとつずつ取り組んで、今年より来年、来年より再来年・・・少しずつ、多くの同窓生が楽しみとなる同窓会にできればと願っています。

千葉支部長 楠山栄子（英大22回）



第2回千葉支部 総会のご案内

日時：2012年10月13日（土）11時～15時（受付は10時30分から）

場所：廣池学園 麗澤大学

れいたくキャンパスプラザ（ホテル・レストラン）3階大会場

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 TEL 04-7173-3558

会費：5000円（年会費は別途1000円）

プログラム：受付 10:30～

総会 11:00-11:50

お食事 12:00-13:00

トーク 13:00-14:00 「アメリカのマイノリティ」

松戸保子さん（英大7回）

懇談・会員紹介など

※出欠について

出欠のお返事は **9月末日までに**、メールで送信、又は裏面のはがきをお使いください。

e-mail: ekusuyama@gmail.com （楠山栄子）

〈メールには お名前、卒回、住所、電話番号をお書きください〉

※宿泊について

遠くからいらっしゃる方は会場のキャンパスプラザがホテルになっていて宿泊可能です。大学構内のホテルですので、とても静かでいい環境です。

（シングル泊¥7,350）

第一回支部総会(2011/10/14)

千葉支部最初の総会は、東葛地区のみの声かけにもかかわらず、57 名もの参加者を得て開催されました。

- 第 1 部は、同窓会会長 久保内聡子さんの千葉支部設立に対する祝辞（代読、同窓会理事 河村扶佐子さん）で始まり、発起人を代表して楠山栄子さん（英大 22 回）が支部立ち上げの経過と同窓会規約の説明をしました。議事として、

- 規約を一部改正して支部年会費を 1,000 円とすること。
- 今後の計画、支部役員選出などが討議され、承認されました。



渡辺節子様

- 第 2 部は、渡辺節子さん（英大 11 回）の「旅を作る、本を作る」と題する講演が行われ、大学で教鞭をとる傍ら、旅を企画立案しておられる渡辺さんのエネルギーあふれるお話に心を奪われているうちに時間が経過してしまいました。

- 講演の後は、専門 35 回（1937 年卒）という大先輩の遠藤富美子さんの乾杯で始まったお食事。

続いて参加者の自己紹介。ご近所だと知って驚きの声があがったり、級友だと分かって手を振り歓声をあげる方もいたり、徐々にリラックスした雰囲気が広がり始めました。ただ、時間不足で全員のご紹介ができなかったのは残念でした。



- 時間の配分や着席の方法などに工夫の余地を残しましたが、初めての顔合わせとしてはまずまずの出来だったのではないのでしょうか。これを参考に「次回はもっと楽しいものにしたい」と役員一同が気持ちを新たに致しました。

（文 永野悦子 数大 11 回）

新年会(2012/02/05) 柏葉亭飯店

95 歳の大先輩から 26 歳の若い方まで 33 名が一堂に会して楽しいひと時を過ごしました。

- 東洋学園大学元教授の脇山怜さん（英大 11 回）に講演していただきました。

演題：「英語の丁寧表現について —異文化コミュニケーションの視点から」

「英語にも敬語があるか」から始まって、「丁寧な依頼表現：その工夫は？」

「丁寧な断り方：No と言わずに No を伝える」「ほめることもポライトネス」

「親しみを表現するのもポライトネス：心理的距離を取り払う」「異文化コミュニケーションの流儀：それぞれ独自のコミュニケーションスタイルがある」まで、45 分間に亘って豊富な文例を引用してお話しいただき、興味深く聴かせていただきました。

また美しい発音や、生き生きしたユーモアにも魅了されました。



脇山怜様



- 懇親会では、野田、柏、松戸など地域別のテーブルごとにお顔合わせがあり、中華料理をいただきながら、和やかにお話がはずみしました。新しく参加なさった方々の自己紹介、近況報告もありました。

スクリーンには、終始「津田塾大学アーカイブズ」よりの、津田梅子先生、キャンパス風景、寮生活などの映像が流され、学生時代を懐かしく思い出しました。

最後に全員で Alma Mater を斉唱いたしました。

（文 山岸恵美子 英大 15 回）

ひしひしと伝わる母校を思う気持ち ～ 同窓会支部長会に出席して～

同窓会総会に引き続いての「2012 年支部長会」は国内 23 支部と海外 4 支部合わせて 27 支部の代表を集めて 5 月 27、28 日の 2 日間行われました。1 日目は大学側から飯野学長、学長補佐 3 名と事務局長を迎えての会議。学長は最初に、創立 110 周年記念事業募金と大震災被災者支援募金に同窓生から多大なご協力をいただいた、と感謝の気持ちを述べられ、学長就任以来、支部回りをして生の声が聞けてよかった、ともおっしゃいました。同窓会理事会および支部長会から強く要望が出ていた津田塾大学の PR をいくつかの新聞に載せることができたこと、卒業生の就職率は 95.7% で順調であり、受験者数も昨年より増えた、などの説明がありました。千駄ヶ谷キャンパスの活用については、学内で「将来構想委員会」が活動を始めたという報告がなされ、やっと取りかかったかという感想をもった理事も多かったのではないのでしょうか。

支部長達、ひいては同窓生たちの心の中に津田塾大学の生き残りを危惧する気持ちがあるからなのでしょうが、大学側への提言、要望、質問が次から次へと出されました。学長は誠意をもって一生懸命に答えようとなさるし、補佐の方達からも補足説明がありました。例えば、小学校で英語教育が始まっているので、オープンスクールの「小学校英語指導法セミナー」の案内を県教委や市町村教委に送ってはどうか、地方の高校に卒業生を送り込んで欲しい、「英語を勉強するなら津田へ」というだけでは今は通じないからプラスする何かが必要ではないか、津田が生き残って輝く為には卒業生の生き方をうまく利用できないか、津田梅子のスピリットを前面に押し出せば生き残る道は開けるのではないか、9 月入学が話題を呼んでいるが、どう考えているか、女子大であることをどう思うか、津田が社会的に存在する意味は何か、就職先が大企業中心になっているのはいかなものか、などなど。

2 日目は休憩なしの 3 時間の討議でした。多く出された問題は、同窓会支部に若い人が集まらない、転出・転入を把握するのが難しい、総会の案内を出しても半分くらいしか返事がない、参加者が少なくなっている、講演者を見つけるのが難しい、会費の未納者に対して厳しくすればいいのか、緩やかでいいのか、会員数が先細りになっている、メーリングリストを使うことで支障はないのか、などなど。千葉支部のように新しい支部は何をやるにも収入がないので頭を痛めるのですが、古い支部ではかなり経済的なゆとりがあるようでした。

何の予備知識もなく出席した 2 日間の会議でしたが、母校に対する同窓生の熱い思いをひしひしと感じました。時にはきつい発言もありましたが、それも母校の発展を願い、出来る限りのことはしたいという母校愛の表れでしょう。千葉支部としても議論された事柄を参考にしながら会員の交流を基本に置き、さらにそれ以上のことが目指せればと思っています。

松澤妙子（英大 12 回）



葉書を
ご利用になる方は
必要事項を
お書きくださいネ。



津田塾大学同窓会千葉支部 第 2 回総会

ご出席

ご欠席

(どちらかを○で囲んでください)

お名前 () 卒業回数 _____

ご住所 (〒) _____

電話番号 _____

e-mail _____